

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 758

所管部局	教育委員会	所管課	社会教育課	担当者名	前田・山下
事業名	府民総体派遣事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	府民総体派遣事業			政策体系	134
会計	一般会計	科目	10.教育 - 6.保健 - 1.保健		

1. 事業の概要

京都府民総体への南丹市代表選考会（予選大会等）で、代表となった各競技選手（約300名）の激励および各種目参加に係る事業

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

スポーツ・レクリエーション活動の振興

南丹市内に在住・在勤されている競技スポーツ活動団体の交流と、市を代表して府民総体に出場する選手団を鼓舞、激励するための事業

② 事業を実施する必要性

府民のだれもが様々な形でスポーツを通じて競技し、交流することにより生涯スポーツの振興を図り、地域の活性化に資するために開催される京都府民総合体育大会の趣旨に基づき南丹市選手団を派遣し、選手団の士気高揚、モチベーションを高め応援（支援）するために実施している。

3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	396	395	393	331	170	340	340
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	396	395	393	331	170	340
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.11	0.07			
人件費	千円	—	—	802	590			
事業費総額	千円	—	—	1,195	922			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

南丹市選手団結団式 315,000円（報償費）

5. 事業結果の概要

第32回京都府民総合体育大会

総合成績 14位（193点）
 入賞競技 バレーボール男子 7位
 バレーボール女子 5位
 ボウリング 7位
 陸上競技 7位

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 壮行会		
●南丹市府民総体選手団結団式兼壮行会 市役所 301会議室	10月16日(金)	
(2) 府民総体本戦		
●第32回府民総体本戦出場 市代表 14競技 17チーム 参加競技 ・市町村対抗競技①バスケットボール、②バレーボール、③卓球、④ソフトテニス、⑤テニス、⑥軟式野球、⑦バドミントン、⑧ソフトボール、⑨サッカー、⑩ボウリング、⑪ゲートボール、⑫陸上競技、⑬グラウンド・ゴルフ、⑭駅伝競走 ・市町村交流種目大会 ①ソフトバレーボール、②卓球バレー ・種目別競技 ①ゴルフ		総合成績 193点 14位 入賞 バレーボール男子 7位 バレーボール女子 5位 ボウリング 7位 陸上競技 7位

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

競技力向上と生涯にわたるスポーツ活動の振興に寄与する取り組みを行った。
 スポーツは「する」「みる(応援する)」「ささえる」の3つのキーワードで成り立っている。府民総体はこれらを兼ね備えた大会であることから、市町村対抗競技への全種目出場と上位入賞を目指し、選手を激励する機会を設け、支援を行う。
 大会の市民へのさらなる浸透と競技団体の育成が課題である。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
 競技力向上と生涯にわたるスポーツ活動の振興に寄与する点。
 ②当該事業のアピール事項
 スポーツは「する」「みる(応援する)」「ささえる」の3つのキーワードで成り立っている。府民総体はこれらを兼ね備えた大会であることから、市町村対抗競技への全種目出場と上位入賞を目指し、選手を激励する機会を設け、支援を行う。
 ③反省点、今後の展開・方向性等
 大会の市民へのさらなる浸透と競技団体の育成が課題である。